

みずほ銀など、資産管理アプリと口座を連動 安全性より高く

2017/5/22 20:48 | 日本経済新聞 電子版

みずほ銀行は22日、資産管理アプリを運営するマネーツリー（東京・渋谷）などベンチャー企業と連動したサービスを始めた。口座の残高を確認する際、ベンチャー企業にパスワードなどを預けずに済む。従来より安全性を高め、アプリを使いやすくする狙いだ。

みずほ銀は外部のサービスと銀行システムを連携するための「API」を提供する。これまでマネーツリーの資産管理アプリを使う場合、同社に銀行口座のパスワードなどを預ける必要があった。

家計簿アプリのマネーフォワード（東京・港）でも24日、同様のサービスが始まる。APIの提供を受けるベンチャー企業は情報管理の手間が省け、サービス開発に専念できる。

みずほ銀は今回の連携で、他の金融機関に先駆け個人と法人全てのインターネットバンキングのAPIを提供した。数十社の企業からAPIを利用したいという要望があり、今後も連携を進めていく考えだ。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.

